

## 第2期「香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定について

これまでの施策の推進や社会情勢の変化を考慮し、国の基本方針と高知県の総合戦略を踏まえ、2020年からの5カ年の新たな目標や施策を定め、引き続き人口減少問題への対応を総合的に進めていく。

### 策定の方向性

現行の総合戦略に定める基本的な考え方や方向性を継承しながら、検証・見直しを行う。

- ◇第1期の取組の成果、課題の検証
  - ◇第2期における新たな視点を踏まえつつ、施策の改善や充実に向けた検討を行う。
  - ◇人口ビジョン
- 国の方針に準じて見直しは行わない。

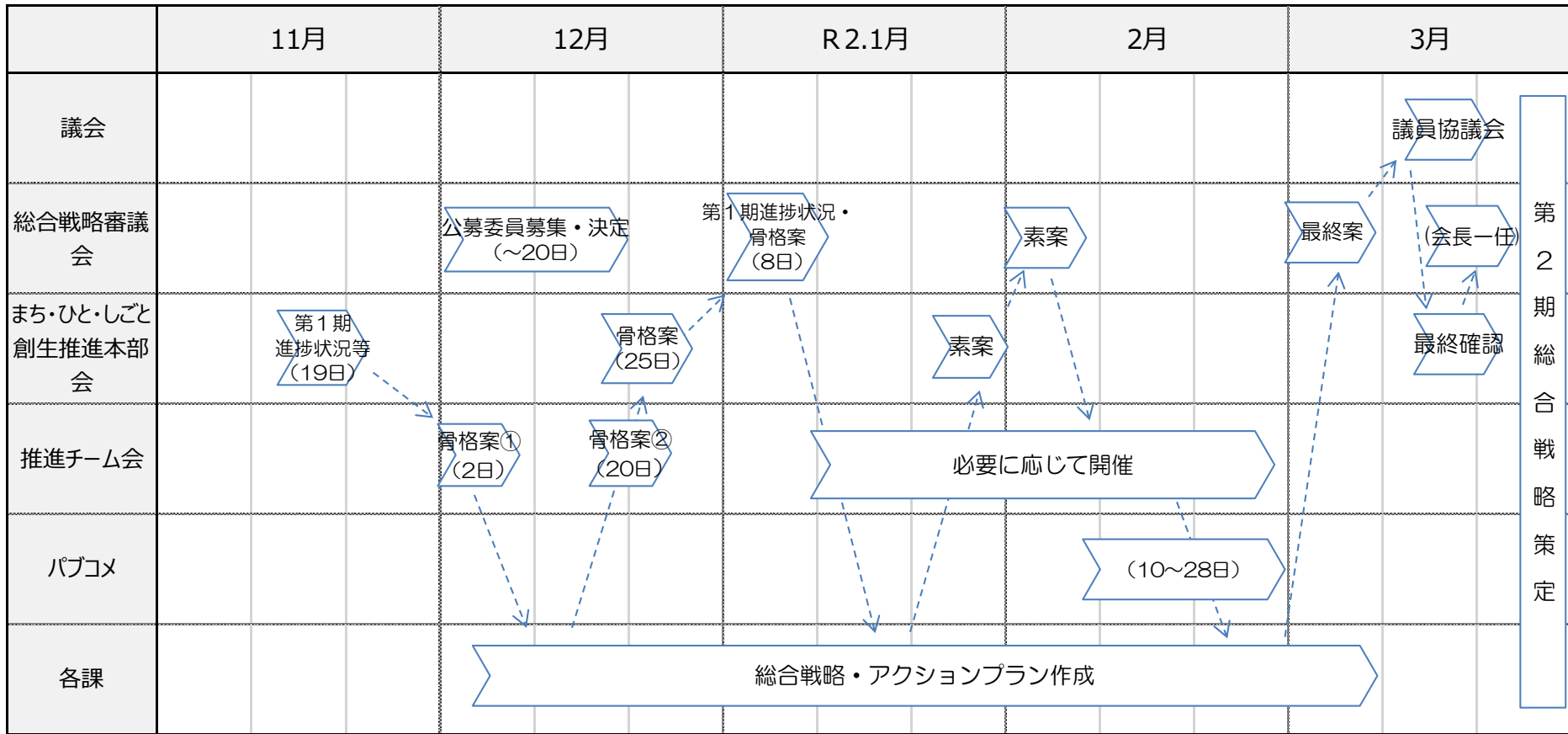
### 策定体制

庁内組織である「香美市まち・ひと・しごと創生・移住定住推進本部」や、「香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」の意見や提案を参考にし、推進チームを主体として庁内関係各課と協議を図りつつ、策定を進める。

### 計画の期間

5年間（2020年度～2024年度）

# 策定スケジュール



# 香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略の骨格案

## 香美市人口ビジョン

中長期展望【2060年を視野】

### 人口減少問題の克服

#### (1) 香美市の現状

■ 1960(昭和30)年代までは4万人超、1980(昭和55)年は33,878人、2000(平成12)年は31,175人、2015(平成27年)には27,513人と減少を続けている。

■ 社人研による将来人口推計では、2010年の28,766人が、2040年には19,665人(約32%減)、2060年には14,681人(約49%減)と予測。

■ 合計特殊出生率：1.41(2017年)

■ 社会移動：2003年から2015年までは転出超過(2013年は転入超過)、2016年から転入超過

#### (2) 人口の将来展望(目標)

・自然増減(出生等)に関する仮定：合計特殊出生率を2040年までに国の仮定値である2.07まで上昇させ、以降2.07を維持すると仮定

・社会増減(移動)に関する仮定：2020年まで社会移動をゼロとし、以降年間30人程度増加すると仮定

■ 短期目標(2020年) 25,900人  
(R1.11月現在：26,079人)

■ 中期目標(2040年) 21,700人

■ 長期目標(2060年) 19,400人

## 第2期香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略

【2024(R6年度)までの5ヶ年】

### 4つの基本目標

(1) 地域に根差した産業を振興し、安定した雇用を創出する

(2) 香美市への新しいひとの流れをつくる

(3) 子どもを産み育てやすい環境をつくり、若い世代の結婚・妊娠・出産の希望をかなえる

(4) 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

### 具体的な施策

※施策ごとに重要業績指標(KPI)を設定

地域産業の競争力強化

人材還流・人材育成・雇用対策

移住の促進

関係人口の促進

結婚(出会い・結婚支援事業)

妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

子ども・子育て支援の充実

教育環境の充実

中山間地域等における「小さな拠点」(多世代交流・多機能型)の形成

地域防災力の向上

協働による定住の推進